

大和公民館だより

発行者 大和公民館

〒409-1203 甲州市大和町初鹿野 1693-1

館長(有賀) [REDACTED] 主事(三枝) [REDACTED]

◇ 大和子育てサロンからのお知らせ

『助産師さんとベビーマッサージ&おしゃべり Time!!』

ベビーマッサージを通して、赤ちゃんの心と体を健やかに育みましょう。参加者はバスタオルをご持参ください。

また、日頃の子育ての不安や心配ごとを助産師さんに気軽に聞いてみましょう。みなさんのご参加をお待ちしています。(担当主任児童委員 平山 文子・塙野 晴美)

※ 日 時 7月23日(金)午前10時~12時

※ 場 所 大和公民館 ※ 問い合わせは、平山 文子さん

A horizontal row of 30 small, dark gray star icons, each consisting of a five-pointed star shape.

篠子峠の西の麓の伝説・民話

瘤取り (こぶとり)

令和3年2月1日号掲載のタイトルと同じです

昔、駒飼に左頬に大きな瘤のある吾平さんと云う唄と踊りが上手なお百姓さんがいた。また、評判の働き者で畠仕事の暇なときは、植林、枝打ち、下草刈り、薪切りと山仕事にも精を出していた。

ある日、おむすびの弁当を持って山に出かけせっせと薪切りをしていた。そろそろお昼かなと腰を伸ばしてお天とうさんを見上げて、大きな木の根方に腰を下しておむすびを食べようかと風呂敷を広げた。その途端、おむすびがころげ落ちコロコロと転がり、吾平さんはそのおむすびを追っかけたが穴の中へ姿を消してしまった。吾平さんはがっかりしてその穴を覗きこんだ。

ところがびっくり仰天、大勢の鬼が車座になって酒盛りをし、唄って踊っている。吾平さんはどこか入口がないかと見回したところ岩陰に入口があった。吾平さんは様子を伺っていたが、穴の中の霧闇気について誘われて踊りながら中へ入って行った。吾平さんの手拍子、足拍子とても面白いので、鬼達も腹を抱えて笑いこけた。いつのまにか時間もたつたので、吾平さんは帰ることにした。鬼達は「また、何日に来いよ」と約束をした。約束の証拠に「今度来るまで大事な瘤を預かる」と言って、左頬の瘤を取ってしまった。吾平さんは顔がすうっと軽くなり、喜んで村に帰り今日の出来事をみんなに話し回った。

すると右頬に瘤のある六平さんがこの話を聞き、瘤を取ってもらおうと吾平さんが鬼と約束をした日に山に行き、洞穴を覗いたところ案の定鬼達は酒盛りの真っ最中、六平さんは踊りながらその中へ入って行った。六平さんの踊りのまずいのなんの鬼達は興醒めして怒り、瘤を取るどころか吾平さんから預かった瘤を、六平さんの左頬へつけてしまった。六平さんは泣き泣き帰ってきたと云うことである。それからこの沢一帯を「瘤土地（こぶとち）」と呼ぶようになった。

※ 現在の土地の表記は「吉部土地」です。

— 平山 植太 —

恒例の「ふるさと大和夏まつり」は、コロナウイルス感染防止のため中止となりました。